

第2次気仙沼市総合交通計画（案）に対するパブリックコメントでの意見への対応について

番号	計画の体系	寄せられた意見（概要）	意見に対する市の考え方	対応
1	<p>【施策1-1】BRTを基幹交通とした路線の再編（BRTと鉄道・路線バスとの接続改善） (55ページ)</p>	<p>現在BRT気仙沼線は、気仙沼駅で止まってしまい、唐桑に行くにはBRT大船渡線に乗り換える必要がありますが、とても不便です。気仙沼内での移動を便利にするなら、気仙沼線を八幡大橋まで延長して欲しいです。</p> <p>また、気仙沼駅～八幡大橋までの乗り入れですが、気仙沼街道(下の一般道)を走って、内湾付近(セブンイレブン気仙沼南町店)に停留所を設けて欲しいです。</p>	<p>気仙沼線BRTと大船渡線BRTの相互乗り入れについては、これまでもJR東日本に働きかけてきたところです。</p> <p>今後も、基幹交通であるBRTと鉄道、路線バス等との連携の向上と合わせて、運行ルートやダイヤ等の見直しによる接続の改善に努めます。</p> <p>BRTの内湾付近の一般道利用については、利便性が向上する一方で、速達性、定時性を損なうことになり、実現は難しいと考えます。</p>	<p>計画案の修正はありません。</p> <p>なお、施策の実施にあたっては、御意見を踏まえ、具体策を検討してまいります。</p>
	<p>【施策5-2】観光客が利用しやすい公共交通の検討 (67ページ)</p>	<p>観光客用に、ホテルに宿泊した方に向けて、24時間タクシーを格安で乗れるサービスを用意して欲しいです。半日、貸し切って乗れたりすると、気仙沼のいろんな名所にスムーズに行くことができ、喜ばれると思います。観光客は、満足度が高ければ、SNSでそのことを全国に向けて発信してくれますので、気仙沼のPRになるかと思えます。PR費とらえて予算を用意して欲しいです。</p>	<p>市内の観光地や施設への二次交通の確保については、課題のひとつと捉えています。</p> <p>タクシー事業者の時間制の貸切プランはありますが、観光事業者及び運送事業者とも連携を図りながら、タクシーを活用したお得感のある周遊プランなど、観光客等が利用しやすい二次交通の確保について研究してまいります。</p>	
	<p>【施策2-1】定時定路線にこだわらない新たな交通体系の導入 【施策2-2】ニーズに対応した公共交通の確保・見直し (57～58ページ)</p> <p>【施策3-2】分かりやすい運賃体系の導入検討 (60ページ)</p>	<p>高齢者向けに、BRTやバスの乗車を無料にするサービスがあればと思います。</p>	<p>高齢化の進行や運転免許返納の機運の高まりもあり、自らの移動手段を持たない方々などの移動手段の確保が重要であると考えます。</p> <p>将来的に持続可能な公共交通とするためにも、受益者負担を原則としつつ、必要に応じてタクシー補助等の導入について検討してまいります。</p>	

番号	計画の体系	寄せられた意見（概要）	意見に対する市の考え方	対応
1	<p>【施策5-2】観光客が利用しやすい公共交通の検討 (67ページ)</p>	<p>三陸高速バスの気仙沼の停留所ですが、現在「気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ」に停まりますが、不便に感じます。観光客が利用するには、ホテルやレンタカーまで遠く、スーツケースを持ったまま移動するのは苦勞します。もし、雨が降っていたら、なおさら大変です。海の市やBRT南気仙沼駅周辺に停まっていたいただいた方が、BRTやレンタカーの乗り換えもしやすく、ホテルにも行きやすいかと思ひます。</p>	<p>三陸沿岸道路を利用する高速バスは、6便が南気仙沼駅を終点としていますが、宮古市まで向かう2便は運行事業者の意向もあり、交流プラザを経由していません。 引き続き運行事業者と情報共有を図りながら、観光客等も利用しやすい交通形態となるよう取り組んでまいります。</p>	<p>計画案の修正はありません。</p> <p>なお、施策の実施にあたっては、御意見を踏まえ、具体策を検討してまいります。</p>
	<p>【施策3-1】ニーズに合った時刻表の提供 (60ページ)</p>	<p>気仙沼での交通に関しても情報不足だと思います。PRに力を入れて、便利になるような取り組みを行って欲しいです。以前、市立病院からのバスの時刻表をネット検索したら、古い情報が出てきて困惑しました。もっと、ITに力を入れて、便利に交通できるようにもして欲しいです。</p>	<p>市ホームページでの情報発信のほか、インターネット上での経路検索サービスについては、現在、ジョルダン及びナビタイムにて対応しており、他サイトへの取組も推進してまいります。 時刻表の更新については、本市以外のサイトでも掲載しているケースがあり、全てを把握できませんが、情報の更新については、随時依頼してまいります。</p>	

番号	計画の体系	寄せられた意見（概要）	意見に対する市の考え方	対応
2	<p>【施策1-1】BRTを基幹交通とした路線の再編（BRTと鉄道・路線バスとの接続改善） （55ページ）</p> <p>【施策2-1】定時定路線にこだわらない新たな交通体系の導入 （57ページ）</p> <p>優先して検討すべき重要課題①～③ （68-69ページ）</p>	<p>通学、通勤時間帯など利用者の多い時間のバスの運行は定刻・定路で継続し、利用者の少ない時間などには、バスの小型化、ジャンボタクシーの利用などで費用の圧縮を図り、障害者の方々に配られている「タクシー割引チケット」をバスを利用する高齢者などに配布するなどではないでしょうか。</p> <p>そうすることで費用の圧縮を図り、市民のQOL（生活の質）の維持も図ることはできないでしょうか。</p>	<p>計画案の策定にあたっては、いただいたご意見と同様の内容も想定し、バス車両のサイズダウンやデマンド交通の導入、タクシー補助の検討などを施策に盛り込んでいます。</p> <p>市内でも地域ごとに特性があり、各地域に合った公共交通等の在り方を検討してまいります。</p>	<p>計画案の修正はありません。</p> <p>なお、施策の実施にあたっては、御意見を踏まえ、具体策を検討してまいります。</p>
	<p>【施策3-2】分かりやすい運賃体系の導入検討</p> <p>【施策3-3】分かりやすいバス停や運行ルート表示の検討 （60～61ページ）</p> <p>【施策5-2】観光客が利用しやすい公共交通の検討 （67ページ）</p>	<p>観光客のみならず「循環バス」が更に利用される体制づくりも必要だと思えます。現状でマップをみながら周遊している方々の中には位置関係がわからない様子の方や内湾にしか行くことができない環境があるように思えます。気仙沼の景勝地唐桑・大島・本吉などに行きやすくなる環境づくりも必要ではないかと思えます。</p>	<p>観光客等の二次交通の確保は本市の課題のひとつと捉え、計画案にも反映しています。市内には公共交通を利用して移動することができない観光地等もありますが、すべてを公共交通で賄うことは経費面からも困難であります。</p> <p>各交通間の接続の改善を図るとともに、観光関係者やタクシー事業者と連携し、タクシーを活用した周遊プラン等の商品造成などの工夫も図りながら取り組んでまいります。</p>	
	<p>【施策3-5】高齢者等が利用しやすい公共交通の整備 （62ページ）</p>	<p>障害をお持ちの方々のバス利用について、バスや乗り合いタクシーのステップが高くて昇降しにくい様子も見受けられます。</p> <p>事業者の負担にならない方法で使いやすい公共交通体系をお願いしたいと思います。</p>	<p>バス等への乗降対策として、路線バスを運行しているミヤコーバスでは、車両の約9割をノンステップバスまたはワンステップバスとしており、また、現在運行しているツースtepバスは、新車購入時にノンステップバスへの入れ替えを計画しています。</p> <p>市が運行を委託している循環バス及び乗合タクシーでは、高齢者、障害者等の乗降時の介助について、対応が可能となっています。</p> <p>全てをハードで対応することは難しい状況ですが、ソフト面で補完可能な部分について、利用者及び事業者への周知も図りながら、誰もが利用しやすい交通形態を目指してまいります。</p>	